

「エネルギーの自給自足を考えよう」 ～小田原まちづくり学校 第1講座～

1. 趣旨・目的

東日本大震災では、福島第一原発の事故等によりエネルギーの「地域自給」の重要性・必要性が明らかになりました。これを受けて、本市としても地域資源を活用した再生可能エネルギーも含めた、自立型電源の普及促進、分散型電力供給システム（マイクログリッド）の導入等の検討をしていきます。そこでまずは、今年度に新設した「小田原まちづくり学校」の第1講座を「エネルギーの自給自足を考えよう」と題して実施。今後、再生可能エネルギーへの取り組みを進めるにあたってのスキームづくりにつなげていきます。

2. 実施方法

①講座は4日間 ②初日は公開アドバイザー ③2～4日目は連続講座

*7月14日（木）に小田原ラスカ u-me サロンで行ったNPO法人環境エネルギー政策研究所長の飯田哲也氏による公開アドバイザーには、150人が来場されました。

3. 連続講座について

(1) 日程（3日間） 8月20日（土）、21日（日）、28日（日）13:00～15:00

(2) 会場 小田原市役所 議会全員協議会室（3階）

〒250-8555 小田原市荻窪300番地

(3) テーマ（講座名）予定

8月20日（土）

「地域のエネルギー事業をどう作るか（先進事例紹介など）」

・民間（企業等）、自治体が行う取り組み事例など

8月21日（日）

「行政政策イノベーション」

・どのような政策を作るべきか

8月28日（日）

「金融と事業のメカニズム」

・事業を展開するための金融の仕組みなど

(4) 講師 NPO法人環境エネルギー政策研究所研究員

(5) 受講者 定員30人程度 参加費無料

- ・スキームづくりに想定される団体・企業・市民
- ・事業構築に関わる意思（希望）のある市民など

*上記以外にも、テーマに興味のある方の傍聴は可能。

(6) その他

- ・3日間のうち1日だけの参加でも構いません
- ・当日の受付となりますが、人数を把握させていただくため、事前に参加が決まっている方はご連絡をいただければ幸いです。

(7) 問い合わせ先

小田原市企画政策課 企画政策係 電話0465-33-1253

「小田原まちづくり学校」は、より高い学識と実践能力を養うための分野別講座を、それぞれのフィールドで活動している市民らに実施し、将来の小田原を担う人材を育成する新規事業です。